

支部ニュース

東 北 支 部

大変にご無沙汰いたしております。暖冬とはいえ朝夕の寒気が厳しくなった東北よりおたよりいたします。

ところで今日は東北支部の活動状況とのことですので支部における研究会、講演会活動などを中心に近況をご報告させていただきます。この東北支部のルポが学会誌に掲載されるのは3月号と聞いておりますので、その頃は春の遅い東北にも日増しに春の息吹きを感じられ、53年度の支部活動計画や総会の準備を進めていることと思います。

51年4月以降の活動概要は別表に示す通りですが、なにしろ東北は広範な地域に会員が50余名と小人数所帯なので研究会や講演活動もいきおい仙台近傍の方々が中心とならざるを得ず参加者も固定しがちとなり若干マンネリ化の傾向もみうけられ、現在、学生会員など新規会員の開拓、研究会をORに関するグループディスカッションの場にするなど、幹事を中心に検討を進めているところです。

51年度の活動をふりかえると、なんとといっても研究会活動の一環として8回(2時間/1回)にわたって開催したOR講座だと思えます。この講座は電算機を使用するにあたっての数値計算について、御園生副支部長が自ら講師をお引受けになられ、延べ200余名の出席で非常に好評のうちに終了しております。この種の計画は来年度以降も実施したいと考え、その検討を進めているとこ

ろです。また52年5月に開催した支部総会時の記念講演では、ポーランドより東北大に交換教授としていらしていたオスカーラング経済大学のZ・ヘルヴィック教授による「ポーランドにおける管理科学の諸問題」のご講演があり、東北大の竹内教授の明解な通訳のもとに、社会主義体制下のポーランドにおける国営企業の投資計画など、経営管理の諸問題を中心としたお話しで、出席者は非常に興味深く拝聴いたしました。またこの講演会では、米国から、東北大への交換留学生メアリー嬢とZ・ヘルヴィック教授との、社会体制を異にするお二人がかわすディスカッションとなごやかな会話は非常に印象的でした。

最近の研究会では、東北工大の安藤先生の、ダイクストラのアルゴリズムによるネットワークの「最短経路問題について」、東北大の瀬戸口先生の生産物流システム、交通システムなどにみられる「離散的流れの統制原理について」が大いに出席者の関心をひきおこし、活発なディスカッションが行なわれております。先般の仙台における創立20周年記念講演会では、東北大の高橋先生に中央とのパイプ役をお願いし、原野副会長、電中研の佐々間所長のお二人においていただき非常に有意義な講演を願ひ盛会裡に終了しております。またその後の懇親会の席では、松田支部長のORに対するご造詣の深さに出席者が大変感銘を受けたり、講師の原野副会長と東北支部の運営委員である河北新報社富田常務のお二人が海軍工廠時代に同じ釜の飯を食べた仲だったとのことで、約32年ぶりに再会され、お互いに薄くなった髪をかばいながら旧知をあたためられたり、大変有意義な行事となりました。

東北支部も支部長、副支部長を中心に支部活動の活性化に努力しておりますが、ぜひ他支部などとの情報交換の場がほしいと考えておりますので、この点、本部の企

研究活動記録

年 月	分 類	テ ー マ	講 師	参加人員
51年4月22日	講演会	日本とヨーロッパの電気事業について	東北電力 加藤 幸雄氏	50
10月28日	研究会	大気汚染防止のための設備投資の予測モデル	東北大 御園生善尚氏	7
11月30日	OR講座	数値計算(8回にわたって開催)	東北大 御園生善尚氏	211
52年2月1日				
2月17日	講演会	人工知能について	東北大 木村 正行氏	8
5月14日	講演会	ポーランドにおける管理科学の諸問題	オスカーラング経済大学 Z.Hellwig氏	35
7月7日	研究会	最短経路問題について	東北工大 安藤 二郎氏	7
9月21日	研究会	離散的流れの統制原理について	東北大 瀬戸口良三氏	7
10月17日	講演会	建物消防のOR	日本システム 原野 秀永氏	45
	(20周年記念講演会)	経営計画モデル—その基本的考え方	電中研 佐々間 孝氏	

画を希望いたしております。

ごく最近の東北地方のトピックスの一つといえば、昭和55年の東北新幹線の開通に先がけて、12月15日、新しい仙台駅の開業式が行なわれており、新幹線開通のあかつきには、東京—仙台間も約1時間50分と時間距離が半減されることになっており、ぜひお立寄りいただきたいものと思っております。たまたま順番からゆくと、全国大会が仙台で開催されるのは55年の春の予定なので、新幹線が間に合えば一層の盛會が期待できるのではないかといまから楽しみにしております。

なお、東北支部へのご教示、お問合せは下記にお願い致します。

(東北支部事務局 Tel. 0222-25-2111 内線 2633
東北電力㈱ 情報システム室内 砂金)

支部ニュース

中国・四国支部

7年ぶりにお引受けいたしました昨年10月の秋季大会も、皆さま方のご協力により恙く終了させていただきましたが、52年度の当支部の活動は、主として、秋季大会のための諸準備とOR学会20周年記念のための行事の計画ならびに実施であったように思います。他の支部のご活動に比べてとくに出色のものはございませんが、この1年間のわが支部の活動状況を概略紹介させていただきます。

1. 講演会

20周年記念講演会および月例講演会も含め、7回の講演会を実施しました(関係学会との共催も含む)テーマと講演者はつぎの通りで、いずれも数10名以上の参加者があり盛會でした。

○管理計画業務への会話型システムの適用について

青山 義彦氏

○グラフ的手法の応用の最近の傾向 伊理 正夫氏

○アブダクションについて 唐津 一氏

○複雑さを簡易化する形態思考(誘画法) 江副 力氏

○電力システム工学の展望 田村 康男氏

○生産計画について(懇談会形式) 十代田三知男氏

○日本的経営と合理性志向 松田 武彦氏

2. 研究会

秋季大会の特別テーマでもあった「実践的OR」の趣旨ののっとり、事例研究を中心とした研究会を、秋季大会に先立ち、20周年記念行事の一環として開催いたしました。したがって、発表者は企業や公共事業関係者が多くなっております。なお一部のテーマについては、秋季大会でも発表されておりますが、これは、事前に発表を行なうことにより、内容の再検討や発表技術の改善点などを発掘するための、いわばシミュレーションの意味も若干含んでいるものです。テーマと発表者はつぎの通りでした。

○電力需要のシミュレーション分析を目的としたマク

ロ経済モデル 亀井清志氏、山本 力氏、児玉史郎氏

○揚水発電を含めた需給シミュレーションについて

今岡 幹典氏

○類似商品の銘柄数に関するOR的考察

陳 耀邦氏、藤永靖彦氏

○宇部地区当社工場群における電力、蒸気の最適供給

システムについて 滝口幸弘氏、金子準二氏

○物流シミュレーター

長沼 良助氏

○デュアルモードバスにおける操舵シミュレーション

渡辺 正明氏

○継電器接点の摩耗の実態と分析

大西 弘氏

○グラフを利用して標準偏差を求める方法について

松尾 義明氏

以上が当支部の最近1年間の主な行事であります。はじめに述べましたように、この1年間は、秋季大会を何とか成功裡に終わらせるための計画と準備に最大目標をおき、不行届きながら、そのための活動を行なってまいりました。

より深刻な資源有限時代、省エネルギー時代をむかえ、ORの必要性がいっそう強く認識されなければならないおりから当支部といたしましても、OR人口の拡大、ユニークな行事の開催など、より広汎なかつ実効性のある活動を展開せねばと模索しているところです。何故なら、何らかの制約条件があるということが、もともとORが生れた原点ですから、皆さまのご協力をお願いいたします。

(藤永靖彦)